

# 『メタボリックドミノ医療における交感神経抑制の意義』

メタボリックシンドロームを呈する高血圧に対する薬物治療について、特にN型Ca拮抗薬にフォーカスをあて、交感神経抑制作用の観点を中心に解説する。

 第53回 日本糖尿病学会年次学術集会  
**ランチョンセミナー45**

## メタボリックドミノ医療における 交感神経抑制の意義

日時 | 2010年 **5月29日** (土) 12:00~12:50

会場 | 第**8**会場  
岡山コンベンションセンター 3F「301 会議室」  
岡山県岡山市北区駅元町 14-1

**座長**  
杏林大学医学部 第三内科  
教授 **石田 均**先生

**演者**  
慶應義塾大学医学部  
腎臓内分泌代謝内科  
教授 **伊藤 裕**先生

**＜共催＞**  
第53回 日本糖尿病学会年次学術集会  
持田製薬株式会社/味の素製薬株式会社

\*本ランチョンセミナーは事前予約制です。  
学会ホームページよりセミナー参加の事前登録が  
必要です。